

## タカナ(野菜類、非結球アブラナ科葉菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	白斑病	コナガ	ネキリムシ類
ストロビーFL	11		7	2	◎		
ノーモルト乳	15		14	2		◎	
ガードベイトA粒	3A		*a	2			◎
ネキリベイト粒	3A		*a	2			◎

\*a:生育初期(但し収穫14日前まで)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
白斑病	生育期	1. 雨よけ栽培を行う。また、マルチを施用し泥はねを防止する。 2. 発生が認められたら次の薬剤を散布する。 ストロビーフロアブル 3000倍	秋季～初冬に雨が多 いと多発しやすい。  ◇成虫の交尾阻害が目的。使用にあたっては、「昆虫フェロモンを用いた防除資材」の項参照。 施設栽培ではハウス内の天井に近い位置に100～400m/10a(100mリール)となるよう固定する。
	収穫後	・収穫後の残渣は丁寧に 取り除き、畑にすきこまない。	
コナガ	播種時 生育期	1. バスライトやバオバオ等による被覆栽培により成虫の侵入を防ぐ。施設栽培ではサイドネットや入り口に防虫網を設置する。 2. 露地栽培ではコナガコン◇を8～10m間隔に支柱を立て、たるまないように畝に平行に100～110m/10a又は20cmチューブを200本/10a設置する。 3. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 エスマルクDF*1 1000～2000倍 サブリナフロアブル*1 1000～1500倍 ノーモルト乳剤 2000倍 プレバゾンフロアブル*2 2000倍	◇成虫の交尾阻害が目的。使用にあたっては、「昆虫フェロモンを用いた防除資材」の項参照。 施設栽培ではハウス内の天井に近い位置に100～400m/10a(100mリール)となるよう固定する。  *1野菜類での登録 *2非結球アブラナ科葉菜類での登録